



ホーム>世界>ガーナ クリスさんの報告04

一緒に歩もう!一緒に変わろう!「立ち上がった世界の人々」の21世紀の夢を応援しよう!

プログラム内容
2011年4月

報告1
2011年5月

報告2
2011年10月

報告3
2012年1月

報告4
2012年7月

報告5
2012年10月

報告6
2013年4月



からし種エージェントによるからし種エージェント増殖と地域変革:第三ステージ

愛の種まき実践例～ガーナより～ 2012年7月

1. 私の手で貧しい子どもたちに教育を:学校経営者・ビクトリアさん(アクラ市)

「愛の種まき」のことを知って、「からし種成長クラブ」の仲間に入れてもらい「隣人を愛する習慣づくり」の学びを毎週、続けました。そして、「私からの祝福がほかの人に伝えられるようにできることって、何だろう。」と思いめぐらすようになりました。昨年末に学校の地域を歩いていたとき、子どもを学校に通わせられない家が何軒かあることが、深く心に留まりました。そこで、自腹を切って経営する学校に10人の子どもたちを、迎え入れることにしました。このことを聞いて一緒に学んでいた「からし種成長クラブ」のメンバーも食費や衣服、文具などを分け合ってくれるようになりました。子どもたちが責任ある大人に成長することを、みんなが夢見てくれて、支援してくれています。



2. 貧しい人々に働く場を:レストラン経営者・アメリアさん(エルミナ市)

私は、以前から貧しい人々のお世話をしていました。女性が10人ほど私のところに食事をしによく来ていました。「愛の種まき」をジョシュアさんから学んで、あるとき、彼らの話を良く聞いてみることにしました。話を聞いて、彼らに必要なのは働く場なのだ、ということに気がつきました。そこで、キッチンスタッフとして働きたいと願った6人を私が経営するレストランで雇うことにしました。彼らがとても幸せそうになり、私もうれしいです。



3. 貧しい人々の手に技能を:牧師・クワクさん(ケープコースト市)

私は縫作りを仕事にしています。「隣人を愛する習慣づくり」に触発されて、あるとき、貧しい人々も何か手に技能を身につければ、食費を稼げるようになると思いました。そこで、7人の貧しい人たちを無料で訓練しました。今では、彼らは自分で仕事をして食費を稼げるようになっています。また、2人の人には塗装を学ぶことができるように支援しました。また、2人の女の子たちは今、ミシンでの縫製を学んでいます。

私がやっていることを知って、私の知り合いの仕立て屋や美容師が無料で
数人の貧しい人たちを訓練してもらっています。



[プログラム内容](#)

[Report01](#)

[Report02](#)

[Report03](#)

[Report04](#)

[Report05](#)

[Report06](#)

[Page Top](#)

[Share](#) |

[ホーム](#)

[活動内容](#)

[FVIの特徴](#)

[参加する](#)

[寄付・献金](#)

[お問い合わせ](#)

Copyright(c) Friends with the voiceless International All Right Reserved

